

民生環境水道常任委員会行政視察報告書

藤本秀樹

高座クリーンセンターでは、焼却施設と複合し、環境プラザとして構成されております。センター内には、キッチンルーム、多目的スタジオ、音楽室などがあります。稼働率が高い施設は多目的スタジオで、今はダンス等が盛んであり、一面鏡張りにしたのが良かったとの見解でありました。

また何より、ごみ処理過程がとても理解しやすく構成された見学ができる環境設備が整っております。個人見学であれば申し込みは不要で見学ができる点など、コロナ禍でありながら昨年の来客者は1万人越えとの事です。ほかにもキッズスペースがあったり、10階の展望室からは新幹線が見えたり、360度見渡せ、自分の住んでいる地域を再確認できるような、家族で訪れても楽しめる施設となっております。本市も新クリーンセンター再建の計画があるため、参考とさせて頂きたい点がたくさんありました。

センター内でのゴミをためるピットの前では、ゴミをつかんで落とす『ゴミクレーン』の動きをガラス越しに間近で見ることができます。とても繊細かつ豪快で壮大な現場です。今年の2月本県内では、ごみピットから火災が発生し、ごみの受けいれが出来なくなる事象がございました。普及には8ヵ月ほどかかり市民のみなさまには大きな影響となりました。高座クリーンセンターではごみのピット内に赤外線による熱感知センサーがあり、一定の温度を検知すると自動放水銃にて消化する機能を設置する事で事故に向けての備えがなされておりました。ごみ処理施設での火災や爆発事故の多くは、スプレー缶などボンベ類、充電電池や使い捨てライターなどがごみに混入して起こるようです。本市では新ストックヤードを含めたリサイクル施設の建設も予定されております。ごみの削減や環境を守るだけでなく、事故を出さない為にもごみの分別は非常に重要であると思われました。

また特に高座クリーンセンターに隣接する屋内温水プールの運営は非常に好評であるとの事でした。昨年実績は9万6千余の来客、コロナ前は14万5千人前後で推移していたそうです。プールでは水泳教室やリハビリにも使われ小学校の事業にも開放しております。また設備として男女別の浴室とサウナ、健康ルームにはエアロバイクやマッサージチェアなどが無料で利用できる健康ルームなども完備、憩いの場となっております。本市も余熱体験施設が建設予定であります。費用対効果も懸念されますが、市民から愛される施設整備を目指したいと考えます。再建予定の本市のクリーンセンターもまちの活性化につながる持続可能な公共施設になりえるよう取り組みを進めたいと考えました。